

入間市議会議員 2期目 活動レポート (令和-12)

無所属 世界初！女性から男性のトランスジェンダー議員

無党派

細田ともや

違いを認め合い 互いを尊重しあえる
“入間市”を目指すために！

～プロフィール～

- 平成3年 女性として生まれる。入間市立野田中学校卒業、私立埼玉平成高等学校卒業
- 帝京大学医療技術学部臨床検査学科卒業。大学在学中に、女性→男性に戸籍変更
- 臨床検査技師として病院勤務。2017年入間市議会議員選挙 最年少25歳 初当選
- 女性から男性へのトランスジェンダーの地方議員として **世界初** となった
- 2021年入間市議会議員選挙 現職最年少29歳2期目当選**
- 人権課題に取り組む他、毎議会 教育・福祉等の一般質問を行なっている
- 2020年6月 英国の非営利団体「One Young World」主催、**世界各地より「地域社会の若者に好影響を与える」年間最優秀政治家** 15人中に選ばれた
- 所属：総務常任委員会・議会防災検討委員会・入間市消防団・青年会議所



市内情報

2021年7月から西武地区体育館の改修工事が開始され、12月24日に工事が完了しました。多目的トイレの新設・トイレの改修・雨漏り・照明のLED化・外壁の塗替え等の改修工事が行われました。そして、本年2月には、防災倉庫も設置されました。新光地区の道路標識が危ない状態になっておりました。子ども達の通学路にもなっており危険なので、担当課に伝え直して頂きました。



西武地区体育館



道路標識



埼玉県PCR検査等無料化事業に関するご案内

埼玉県では、健康上の理由(基礎疾患や副反応など)等により、新型コロナウイルス感染症のワクチンが接種できない無症状の方が、「ワクチン・検査パッケージ」等のために必要となる検査(PCR検査・抗原定性検査)を無料化します(ワクチン接種を受けられない12歳未満のお子様も対象となります)。詳細につきましては右記 URL(埼玉県外部特設ページ)をご覧ください。

ワクチン接種スケジュール等 最新情報については、市公式HPや広報いるま号外等で随時発信されます。



埼玉県外部特設ページ



脱炭素社会への取り組みについて

質問 1. 第二次入間市環境基本計画の成果

- (1)再生可能エネルギーの導入・普及の状況 (2)どのような省エネルギー対策に取り組んできたか
2. ゼロカーボンシティを宣言してからの取り組みは?
3. 入間市脱炭素ロードマップの作成の予定はあるか?
4. 今後の具体的な実現方法を検討していく必要があると思うが、どのような取り組みを考えているのか?

- 答弁 1. (1) **住宅用省エネルギー設備設置費補助制度を使用した太陽光発電システムが10年間で累計1099件設置、約1万9000トンの二酸化炭素が削減。**
- (2) 市役所の省エネルギー対策としては、各施設や事業において、電力や紙の使用量の節約等に取り組んだ。
2. 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定の為に、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金を活用し、事前調査を令和3年度に実施。ごみ減量化・資源化の推進として資源再利用奨励補助事業を実施。
3. **令和4年度に作成予定。**
4. 当市のゼロカーボンシティ構想として、民間が主体となる地域新電力設立に向けた「ゼロカーボン協議会推進体制」を構築し、地域新電力によるまちづくりを進めたい考えである。
市庁舎への再生エネルギーの導入、公用車の電気自動車導入とシェアリング事業、V2H(電気自動車用充放電器)設置者への補助、学校給食残渣の再資源化、1人1日100gのごみ減量の徹底。
官民連携の取組みとして、バイオマス発電やゼロカーボン工業団地創出の検討などに着手していく。
市民、事業者、行政が一体となって、持続可能なまちに貢献するゼロカーボンシティの実現を目指す。

防災行政について

- 質問 1. 避難所運営マニュアルに性的少数者への配慮の記載要望を、令和元年12月議会から要望していたが検討の現状は?
2. 性的少数者のカップルが同居の親族と同様にパートナーの安否情報が得られるようになっているのか?
 3. 仮設住宅への申込みは、性的少数者のカップルでも可能か?
 4. 妊産婦・難病者等への防災準備の促進強化をする為、難病患者・家族のため平時からの準備と災害時対策をまとめた「災害対策ハンドブック」が必要と考えるが、市としてどのように考えているのか?

- 答弁 1. **地域防災計画は改訂を含め、令和4年4月から運用開始予定。避難所運営マニュアルも追加の改訂を行う。**
2. パートナーシップやファミリーシップ宣誓制度の受領書等で内容が確認できれば安否情報や内容を明確に情報を提供できる。
3. 地域防災計画で「県及び市独自の入居基準に従い、入居者を選定する」ものとなっている。
性的少数者への配慮を含めて入居基準を定めていく。
4. 本年度、防災ガイドブックに改正を行い、市民に配布予定。避難行動、情報の収集方法、要支援者への配慮・支援について掲載している。自主防災会等に説明会や研修を行い知識や意識を高めていく。

発達障害児の親への相談支援体制について

- 質問 1. 厚生労働省も発達障害児の養育経験のある親が、同じ境遇の親に寄り添い、相談に応じる※1ペアレントメンターの養成派遣事業を推進しているが、今後当市としても活用していく考えは?
2. 今後の取り組みは?

- 答弁 1. **大変有効であると承知している。今後は県の委託先と調整をし、活用について検討していく。**
2. 障害を抱える子どもが、地域において、心身ともに健やかに成長し自立するためには、その成長を見守り支援していく環境が必要である。その為、発達障害を理解いただくための周知啓発が重要であると認識を引き続き、広報紙や市公式ホームページへの特集記事の掲載等を通じ、周知啓発を図っていく。
- ※1 自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親を指します。
高い共感性に基づくメンターによる支援は、専門家による支援とは違った効果があることが指摘され、厚生労働省においても有効な家族支援システムとして推奨されています。

無所属の会発行

 <http://h-tomoya.com>

〒358-0055 入間市新光306-888

☎ 080-8739-3649

こちらのチラシはUDフォントを使用しています。



掲載・出演メディア

細田智也

検索 

- NYタイムズ・The Independent(イギリス)
- NBCニュース
- 読売・朝日・毎日・産経・東京・埼玉各地方新聞等
- AERA・Wikipedia等
- NHK(おはよう日本・首都圏ネットワーク) 討議資料